

出張講座の実施について

令和8年4月17日
広島県立美術館

1 趣旨

当館では、美術作品や展覧会の見どころなどをわかりやすく紹介する出張講座のメニューを別紙のとおり用意しています。御希望に応じて、学芸員が学校や公民館に伺ってお話しますので、学校や地域などにおける鑑賞活動、相互交流の促進に御活用ください。

2 実施日時

随時(実施日時の変更をお願いする場合があります。)

3 所要時間

1時間～1時間半程度
(御希望に応じます。)

4 実施主体・会場

営利を目的としない、県内の公民館や生涯学習センター、小・中・高等学校などの公共団体

5 実施メニュー

詳細は、別紙1を御覧ください。
なお、1メニューにつき年間3回まで、1団体につき年間1回までとします。

6 必要な機器

パソコン・プロジェクターなど

7 費用負担

講師旅費・材料実費(講演料は不要です。)

8 申込方法

- ・申込期日は、原則、開催希望日の1か月前までとします。
- ・別紙2の申込書に御記入の上、メール(宛先:bjkgakugei@pref.hiroshima.lg.jp)にてお申し込みください。件名を「出張講座申込」としてください。
- ・日程等を調整しても御希望に沿えない場合、または「4」の条件に当てはまらない場合は、お断りすることがあります。

9 申込先

広島県立美術館 学芸課
〒730-0014 広島市中区上幟町 2-22
Tel. 082-221-6246 / Fax 082-223-1444
bjkgakugei@pref.hiroshima.lg.jp

(別紙1)

令和8年度 広島県立美術館 出張講座 実施メニュー

A コレクション・トーク

【日本の洋画】

- 1 絵画の裏側 講師:主任学芸員 藤崎 綾

絵画作品の楽しみ方には、色やかたちといった造形要素を味わう以外にも、関連する作品や資料からの読み解き、時代背景や作品へのユニークな批評、その作品を愛蔵したコレクターについて知るなど、さまざまな視点やアプローチがあります。作品の裏側ともいえる豊かな背景とともに、当館の代表的な近代洋画作品について御紹介します。
- 2 絵画の探検 ～楽しみ方のヒント～ 講師:主任学芸員 藤崎 綾

一つの作品をじっくりと見ることで初めてわかる絵の魅力。当館の所蔵品を中心に、鑑賞の楽しさが見つかるヒントになるかもしれない、いくつかのポイントを御紹介します。主に児童・生徒対象です。
- 3 風景画を楽しむ 講師:学芸員(エルダー) 角田 新

小林和作や中西利雄など、当館の所蔵する作家には魅力的な風景画を描いた画家が数多くいます。しかし一口に風景画といっても、その捉え方や切り口、そこから見えてくる世界などは、とても幅広く、それぞれに魅力的です。作品鑑賞を楽しむ手がかりや、作品が描かれた背景などを、当館の所蔵する近代洋画の代表作を例にお話しします。
- 4 水彩画の魅力 講師:学芸員(エルダー) 角田 新

南薫造や中西利雄など、当館の所蔵する作家には水彩画の普及に大きく貢献した作家が少なくありません。水彩画はその手軽さから、油絵などよりも1段低い表現とみられがちですが、実際には水彩画ならではの工夫や魅力にあふれています。油絵の力強さにも負けない水彩画を求めた中西利雄、水彩らしい柔らかな表現を追求した南薫造など、当館の所蔵する水彩の作品を通して、水彩に取り組んだ人々の魅力あふれる人物像にも触れながら、水彩画の魅力を御紹介します。

【日本画】

- 5 児玉希望の画業に見る近代日本画の歴史 講師:主任学芸員 神内有理

広島県安芸高田市出身で、昭和の日本画壇を牽引した児玉希望(1898-1971)。「一人の画家のものとは思えない」と言われる希望の多彩な画業を見ると、その背景には当時の日本画の動向が浮かび上がります。希望の画業を中心に近代日本画の歴史を学んでみましょう。

【西洋美術】

- 6 ダリって誰? 講師:主任学芸員 山下寿水

20世紀を代表する奇想の画家、サルバドール・ダリ(1904-1989)。広島県立美術館所蔵の大作「ヴィーナスの夢」を中心に、「無意識」の世界を描いたダリの画業をご紹介します。
- 7 戦争は美術をいかに変えたか 講師:主任学芸員 山下寿水

1914年に勃発した第一次世界大戦は、未曾有の被害をヨーロッパにもたらしました。多くの芸術家たちも戦争に参加し、その体験は近代美術に大きな影響を及ぼします。ダダやシュルレアリスム、新即物主義といった新しい芸術運動が生まれた流れをたどります。

【工芸】

- 8 広島がはぐくんだ伝統工芸「高盛絵」 講師:主任学芸員 岡地智子
「高盛絵」は漆と砥の粉を練り合わせたペーストを器面にのせ、立体的に盛り上げ、最後に色漆を塗って仕上げる技法です。江戸後期に名古屋で生まれたこの漆芸技法は、明治に入り、三代金城一國齋が広島の地で完成させました。当館所蔵の高盛絵作品を中心に、その技法と歴史を御紹介します。
- 9 海を渡った日本の磁器 伊万里焼 講師:主任学芸員 岡地智子
江戸時代の初め、朝鮮半島や中国の技術を取り入れて生まれた伊万里焼は、遠く海を渡りヨーロッパの人々を魅了しました。当館所蔵の重要文化財「伊万里色絵花卉文輪花鉢」を中心に、伊万里焼の歴史を御紹介します。
- 10 中央アジアのスザニ刺繍ワークショップ 講師:学芸課長 福田浩子
当館は19-20世紀に中央アジアで作られた刺繍作品を数多く所蔵しています。森薫さんの人気漫画『乙嫁語り』に登場する刺繍等の手仕事は、現在も行われています。ユルマとボスマという刺繍ステッチで小さな作品を作ります。対象者は針を持って縫える方です。学校の手芸部や手芸クラブでの実施も可。
ご準備いただくもの=シーチング等の布、25番刺繍糸(指定の色番)、フランス刺繍針、ペン、糸切りハサミ、作品によってクルミボタンキット又は小型刺繍枠又は小型フレーム(レベルや作るものは要相談)
- 11 文化体験「シルクロードのパラオを作って食べよう！」 講師:学芸課長 福田浩子
中央アジアの広い地域で、客人を招くときに欠かせない料理である炊き込みご飯パラオ(オシとも言う、ロシア語でプロフ)。国内ではめったに食べられないパラオをみんなで作って、味わってみませんか(辛くありません)。ご希望があればサイドメニューも作れるかも。現地文化を紹介するスライドレクチャーあり。
ご準備いただくもの=調理室(水道とコンロ必須)、調理道具(蓋付きの鍋<ごはんが炊ける>、木ベラなど)、食材(米、ニンジン、タマネギ、トマト、肉<羊または鶏>、レーズン、塩、サラダ油)、食器など

【その他】

- 12 名勝縮景園の歴史と美意識 講師:主任学芸員 隅川明宏
県立美術館に隣接する名勝縮景園は、1620(元和6年)に広島藩主浅野長晟が上田宗箇に命じて作庭させ、昭和15年(1940)に浅野侯爵家から広島県に寄贈された池泉回遊式の大名庭園です。関連作品を交えて、およそ400年の歩みを御紹介します。
- 13 浅野家の宝物館「観古館」と県立美術館の歴史 講師:主任学芸員 神内有理
「観古館」とは、縮景園の一角に、大正2(1913)年に旧広島藩主・浅野長勲により設立された美術館です。この設立は、私立の美術館としては全国的に極めて早く、浅野家の文化に対する見識の高さを示しますが、残念ながら原爆によって消失しました。本講座では、当時の様子を伝える資料類から、戦前の文化都市としての広島の姿を御紹介します。

B 特別展のためのとくべつ講座

- 14 『ロートレックとミュシャ パリ時代の10年』 講師:学芸員 池田彩夏
展覧会会期:令和8年4月2日(木)~5月31日(日)
19世紀末の「よき時代(ベル・エポック)」のパリで活躍した2人の画家、アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレックとアルフォンス・ミュシャのポスターを中心にごらんいただく展覧会です。本講座では、展覧会をよりお楽しみいただくために、2人の生涯や同時代のポスター文化についてご紹介します。
- 15 『第73回日本伝統工芸展』 講師:主任学芸員 岡地智子
展覧会会期:令和9年2月17日(水)~3月7日(日)
本展では、人間国宝から新進気鋭の若手まで、陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸のそれぞれの分野で活躍する作家の作品が集まります。展覧会をさらに楽しんでいただけるよう、入選作品や作家について御紹介します。